

「海外旅行記～上海経由、ヨーロッパ3カ国感動体験！8日間」

東日本大震災から3カ月、復旧復興はまだまだ、今日の生活、明日の生活にも困っている東北地方の被災地、原発、地震、津波、風評被害、三重四重苦に政策が追いつかない、収入ゼロで仮設住宅が折角当たっても光熱水道費や食費が払えないので入れない避難民、東京と現場の差は大き過ぎる。こんな状況で海外旅行？とんでもないのか、いやいや日本全国の経済が衰退すれば被災地も復旧復興しない。出来る範囲でお金を回そう。元気と笑いを出そう。それがひいては被災地応援になるだろう。こんな理屈で出発することにした。

40年間働き続けて妻とゆっくり旅行もままならなかった。時間とお金と配慮がなかった。

子どもも手を離れ、夫婦2人で国内、海外旅行を出来る範囲で楽しむことにした。

今回は6月4日～11日まで上海とドイツ、スイス、フランスを旅行しました。

1・6/4 9時10分岡山空港発→2時間ぐらいで上海へ

リアモーターカーにて上海市内観光へ・・・豫園、豫園商城、田子坊散策、
中国茶専門店ではジャスミン茶など飲む、・・・夕食に上海料理・・・外灘夜景観賞へ・
上海雑技団の見物—一台の自転車に12人乗り、
鉄の球体の中を5台のオートバイが縦横無尽に走り回る曲技（木下サーカスの比ではない。）
上海空港～フランクフルトへ・・・飛行機時間12時間10分

・・・機中泊・・・

2・6/5 6時05分フランクフルト到着・・・ハイデルベルク城と市内観光—アルテ・ブリュッケ

「中世の宝石」と讃えられるロマンチック街道を観光バスで走りローテンブルクへ
ローテンブルク市内観光—市庁舎、聖ヤコブ教会、マルクト広場・・・赤レンガ屋根の家が立ち並ぶ、
おとぎの国そのものの風景
観光バスで美しいロマンチック街道を通り、南ドイツのフュッセンへ

・・・フュッセン泊・・・

3・6/6 8時出発・・・世界遺産ヴィース教会—世界遺産に指定されているロココ様式の美しい内部装飾

ヴィース教会へ歩く時急に空から大粒の氷がバラバラと降ってきた、傘はさしていたが
全員びしょぬれ、神様の怒りか？悪者はいなかったのに、見る間に屋根の上や道路は真っ白、
車の屋根もへこんでいた。2～3センチもある大きなものだった。

この教会に使用されている青い大理石が貴重なものだそうです。

赤とか茶色の大理石はどこにもあるが青いのはめずらしいものだそうです。・・・

午後ドイツのハイライト・・・「ノイシュバンシュタイン城」—バイエル王ルートヴィヒ2世の夢を
現実化した「白亜の美城」豪華な内装には感動の連続でした

ドイツはじゃがいもが主食だがパンもあり、まあまあ料理だった。

ビールとワインは昼、夜、食事時には飲んだ。ドイツ、フランス、スイス、とも
日本人の口に合う感じでおおいかったです。

・・・観光後観光バスでスイスのグリンデルワルドへ・・・・・・・・・・

ドイツからオーストリアを通り、スイス国境に観光バスが入るとスイス警察のパトカーが
サイレン鳴らして追いかけてきた、スピード違反もしてない、追い越し違反もしてない、

一体何なんだろう？

運転手が者検証を持って警官と話している、何を言っているのかはわからない。
観光客はこの間に警察でトイレ休憩することにした。運転手はパトカーに乗せられ
どこかに連れて行かれた。乗客の不安は頂点に上り詰めていた。すると運転手が帰ってきた。
ヨーロッパでは観光バスの運転手は2時間走ったら30分休憩をとらねばならない規則がある。
この運転手は人がいいのか前にドイツで休みを取らずに走っていたのだ。
罰金2万5000円を支払って釈放された。
50セント払わず警察でトイレを無料で済ませた乗客は不安からすっかり解放され、
とんだハプニングにバスの中は話に花が咲いた。

・・・グリンデルワルド宿泊・・・

4・6/7 スイスのグリンデルワルドで一美しい山岳リゾートでのショッピングや散策をする

7時30分—グリンデルワルド駅へ向かう・・・列車でユングフラウヨッホへ
途中クライネシャイデックを経由・・・ユングフラウ観光—4000メートル級のアルプスは
天気も良く美しい別世界だった。展望台には観光客も多かった。
女性初登頂をした今井みちこさんのアイガー北壁も見る事ができた。
温暖化だろうかアルプスの山の岩が雪の中から出ている部分があった。
スイス名物「アルペンマカロニ」の昼食後—列車にてグリンデルワルドへ・・・
15時15分ころジュネーブ駅からフランス新幹線TGVでパリへ向かう23時30分パリ着

・・・パリ泊・・・

5・6/8 7時30分～・・・世界遺産モンサンミッシェル観光・・・

海岸より2km離れ、岩盤の上に建設された修道院は見事な建築物でした。
ある時は修道院、またある時は監獄してその歴史は古く幻想的な風景を醸し出していた。

その帰りにアクシデントは起きた。観光バスのファンベルトが途中で切れてしまったのだ。
ベルトが巻きついて交換できない。パリから交代のバスを呼ぶと3～4時間かかる。
さあどうする、困り果てた。運転手や添乗員が電話しまくりであった。
その近辺のバス会社に空いているバスがやっと見つかった。疲れ果ててフラフラで
パリにやっと帰ってきた。真夜中であった。

・・・パリ泊・・・

6・6/9 9時00分～・・・ベルサイユ宮殿と庭園観光・・・

ルイ14世、16世、マリーアントワネットが栄華を極めた宮殿は竜宮城のような美しさであった。
午後パリ市内観光—ルーブル美術館・・・モナリザの絵の前は黒山の人ばかりでした。
エッフェル塔は錆止め塗り替え工事中でした。～凱旋門をバックに写真を撮りました。
夜はセーヌ川のクルーズを楽しみました・・・
22時にはエッフェル塔がシャンパンシャワーと称してライトアップし、上から下までシャンパンの
泡のように星が降りこの世のものとも思えぬきれいさでした。

7・6/10 9時00分ホテルにて朝食後 パリのシャルルドゴール空港へ
13時40分パリより空路上海へ～11時間20分

・・・機中泊・・・

8・6/11 7時00分上海着～上海市内観多倫路散策～魯迅公園～新天地～上海博物館～総合民芸品店など
17時50分上海空港より岡山空港へ飛行時間2時間

いろんなアクシデントやハプニングがあったがメンバーも良かったし
運転手、添乗員も良かったし、楽しい旅だった。
ただパリでのガイドのおばさんの声が小さいく早口でよくわからなかった。
今回、飛行機は中国東方航空だったが、客室乗務員の接客態度が悪かった。
大韓航空の方が良い。JAL、ANAは良く教育していると思う。
日本人の「おもてなし」は世界に誇れるものだと思う。

「**旅行日程順に写真を展示します**・・・・・・・・」



中国東方航空



上海・豫園商城



上海～豫園



上海～豫園



上海～お茶専門店～ジャスミン茶、緑茶、ウーロン茶、・・・



上海雑技団～5台のバイク競演、10人乗り自転車など・・・



ドイツ～城から見た、ハイデルベルク市内



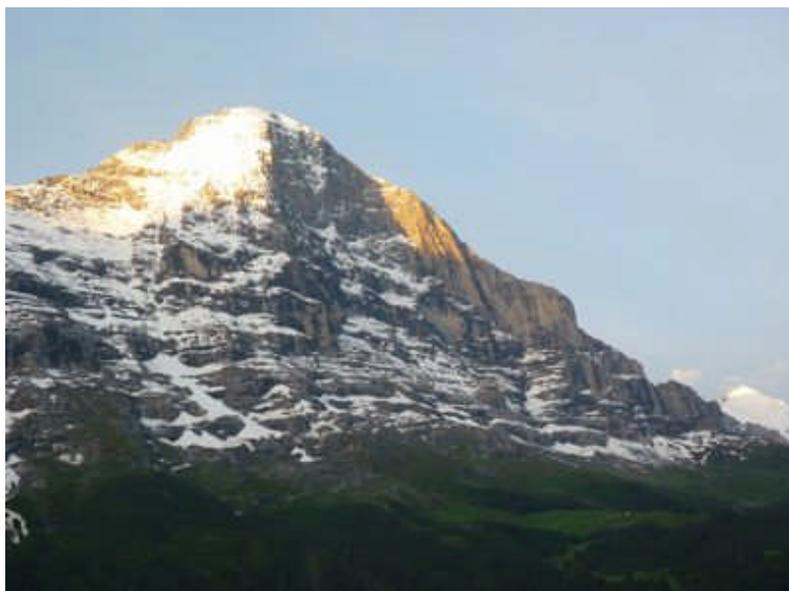
ドイツ～ローテンブルク市庁舎・・・マルクト広場



ドイツ～ローテンブルクの商店街で



ドイツ～ノイシュバンシュタイン城



スイス～アルプスの夕焼け



スイス～アルプス・・・ユングフラウ・・・4000m級の山々



スイス～登山列車、標高 3454mユングフラウヨッホ駅へ



スイス～・・・ユングフラウやアレッチ氷河



フランス～世界遺産モンサンミッシェル



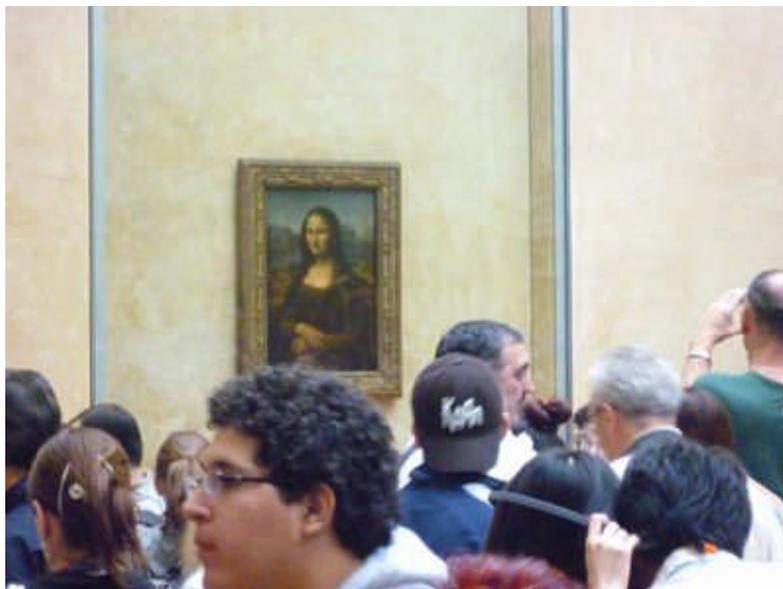
フランス～ベルサイユ宮殿



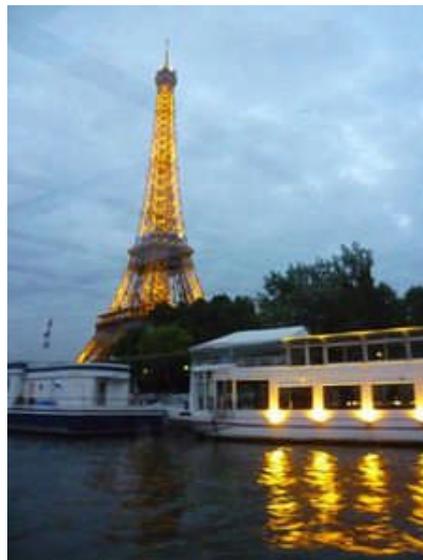
フランス～ベルサイユ宮殿の庭園で・・・国際交流・・・



フランス～パリのオペラ座



フランス～ルーブル美術館の「モナリザの微笑み」



フランス～セーヌ川クルーズ・・エッフェル塔・・ライトアップ、シャンパンシャワー



上海～魯迅公園・・・太極拳する人やダンスする人多数いた

以上

「上海からドイツ、スイス、フランス感動体感8日間の旅」の旅行記と写真でした。
ご覧いただきましてありがとうございました。

・・・お疲れ様でした。・・・

2011年6月20日 RSK—OB 高谷 昇